

## 中国のアニメ・漫画アプリ市場

株式会社クララオンライン  
コンサルティングチーム

### <要約と結論>

中国のインターネット文化市場は拡大を続けており、2016年上半期(1-6月)のアニメ・漫画市場は前年同期比77.1%の伸びを見せた。中国のアニメ制作本数はすでに日本を超えており、インターネットで作品を発表する漫画家も国内に相当数いることがうかがえる。

その一方で、作者と制作スタジオあるいはアプリ運営会社等の間で著作権の帰属先にまつわるトラブルが散見される。また動画配信市場と同様に、大手サービスが海外の人気作品の正規版権を取得した後、無許可で配信する中小規模のサイトを排除していく動きもみられる。

インターネット調査会社のまとめによると、2016年6月末時点でスマートフォンを含むモバイル端末でアニメや漫画を見ているユーザーは1,600万人を超える。よく知られているアプリとしては、「快看漫画」や騰訊(Tencent)グループの「騰訊動漫」といったものがある。

アニメあるいは漫画のいずれかを配信するアプリのほか、総合エンタメアプリとして、ライトノベル、映像作品、アニメや漫画にまつわるニュース、海外の動向、ファンコミュニティ、作家のSNS、読者による投稿作品といったコンテンツを持つものもある。正規版権をうたう「騰訊動漫」は、海外の人気作品を中心に閲覧は有料となっているが、その他の多くのアプリは完全無料で利用でき、広告やゲーム、人気漫画の書籍化や映像化で収益を得ているようだ。

文化部は2015年からインターネット上にある有害コンテンツの取り締まりを強化している。主に暴力やわいせつ、テロ、未成年の犯罪を誘発したり、公衆道徳に影響を与えたりする可能性のあるものが対象とされるが、アニメについてはすでに38作品がブラックリストに掲載され、国内での配信が禁じられている。以前は中国でも広く配信され人気を博していた日本のアニメ作品も対象となっており、動画配信事業者のなかにはストーリーが似た作品の配信を自主的に取り止める動きもでてきている。今後ブラックリストの第二弾が公開される可能性もあり、漫画についても将来同様の規制がかかることが考えられる。定期的に行われる当局の取り締まりを注視することが重要だ。

## 1. インターネットを通じたアニメ・漫画市場は順調に拡大

文化庁文化市場司のまとめによれば、2016年上半期(1-6月)のインターネット文化市場の規模は1017.2億円で、このうちアニメ・漫画分野の市場規模は前年同期比77.1%増の70.3億元に上る(そのほかオンラインゲーム市場が同24.1%増の838.9億元、音楽市場が同43.5%増の25.4億元、生配信市場が同209.3%増の82.6億元)。

現在アニメ制作会社は全国に約4,600社あり、専門技術を持つ人材はおよそ22万人、業界全体の就業人数は50万人以上といわれる。2011年にはアニメの年間制作数が385本、時間にして22万分に達し、質ではかなわないものの量の面では日本を超えるアニメ制作大国となっている。また漫画について、大手アプリが国内の漫画家と独占契約を結んだり、新人漫画家の発掘に力を入れたりしており、こちらもストーリーや絵の質は別にして、インターネット上で作品を発表している漫画家は国内に相当数いることがうかがえる。

他方、作者と制作スタジオあるいはアプリ運営会社等との間で、著作権の帰属先にまつわるトラブルが見られる。さらに権利者と正式な契約を結ばずに作品を配信、掲載する海賊版アプリの問題も根深い。2015年には騰訊(Tencent)グループのアプリ「騰訊動漫」が、上海元酷网络科技有限公司が運営する無料漫画アプリ「漫画幫」について、『狐妖小紅娘』など5作品を違法に掲載し、原作者および権利者の権益を侵害したとして提訴、最終的に騰訊動漫側が32.3万元の賠償を勝ちとった。なお「漫画幫」は資金難などを理由に2016年1月1日に運営を終了している。



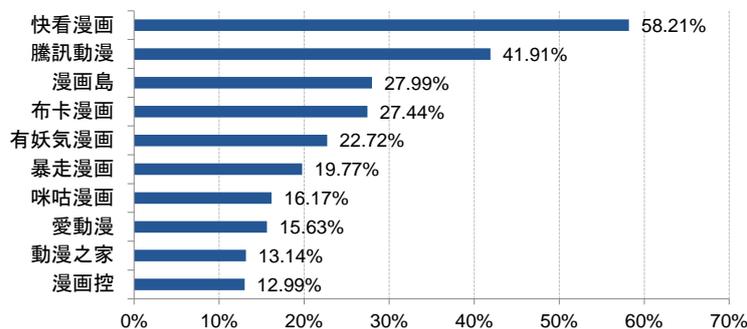
日本の漫画もたくさんあった漫画幫

## 2. アニメ・漫画はモバイルで楽しむのが主流に

Analysys 易觀千帆の調査では、2016年第2四半期(4-6月)の時点で、スマートフォン等のモバイル端末でアニメや漫画を見ているユーザーは1644.67万人に上る。アニメ・漫画アプリを利用するユーザーが最もよく利用しているのは「快看漫画」で、利用率は

58.21%だった(パネル総数はモバイル端末の月間アクティブユーザー1.94 億人)。

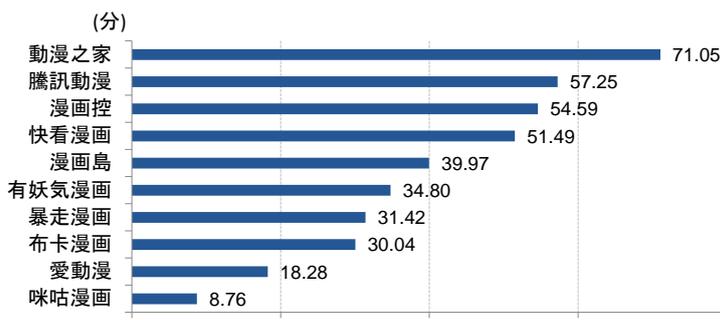
### 2016Q2 モバイル向けアニメ・漫画アプリの利用状況



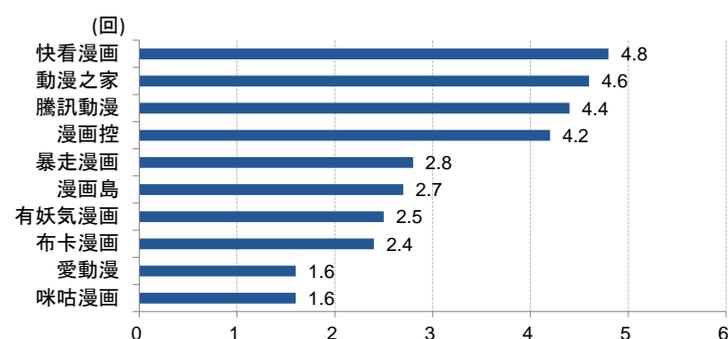
Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

また1人あたりの1日の平均使用時間が最も長いのは「動漫之家」で71.05分、逆に最も短いのは「咪咕動漫」でわずか8.76分となっている。アプリの平均起動回数は「快看動漫」が1日4.8回で最も多く、「咪咕動漫」は「愛動漫」と共に最も少ない1.6回だった。Analysys 易觀千帆は、「動漫之家」の使用時間が特に長い要因として、漫画だけでなく、ニュースや読み物、ライトノベルを豊富に取り揃えているためと分析している。

### 2016Q2 アニメ・漫画アプリの1日平均利用時間

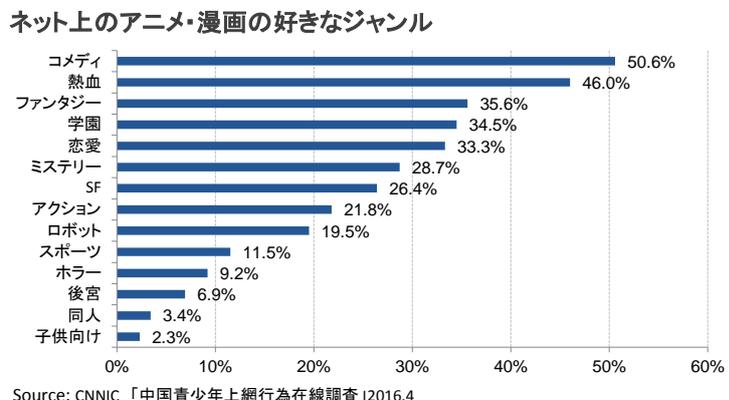


### 2016Q2 アニメ・漫画アプリの1日平均起動回数



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

25 歳以下の青少年を対象とした調査ではあるが、インターネットで閲覧する好きなアニメ・漫画のジャンルは、コメディが最も多い 50.6%で、次いで熱血モノが 46.0%、ファンタジーが 35.6%となっている(中国インターネット情報センター(CNNIC)調べ)。



### 3. 主要なアニメ・漫画アプリ

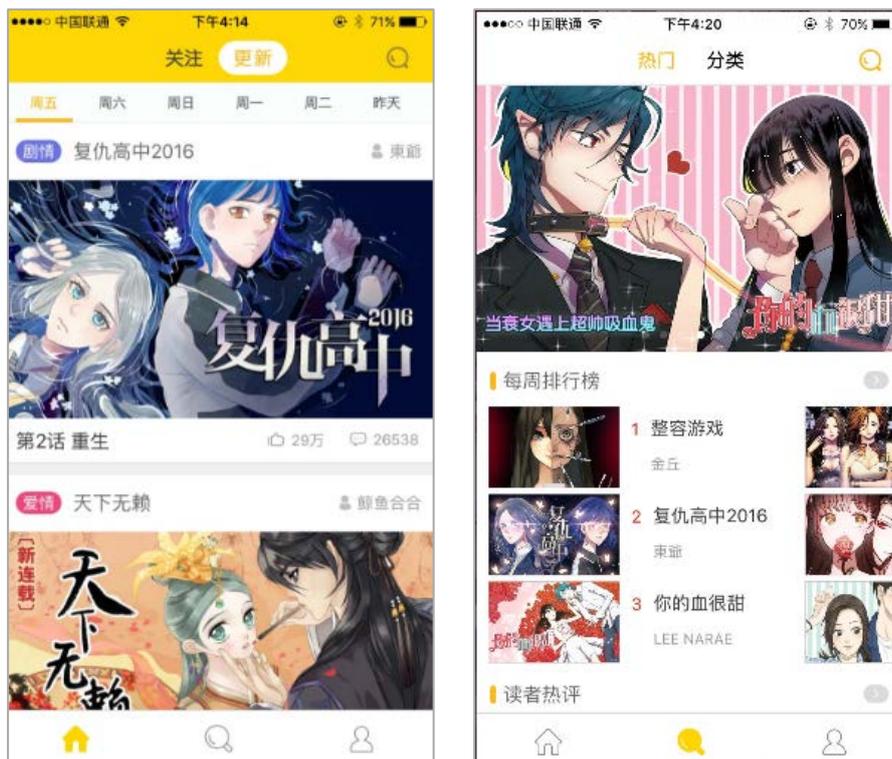
#### ● 快看漫画 <http://www.kuaikanmanhua.com>

2014 年 9 月に設立された快看世界(北京)科技有限公司が運営する無料漫画アプリ。創業者の陈安妮は 1992 年生まれの女性で、漫画家でもある。



2016 年 3 月末時点の登録会員数は 3,000 万人以上で、月間アクティブユーザー数(MAU)は 1,100 万、1 日あたりアクティブユーザー数(DAU)は 350 万。2014 年末にシリーズ A ラウンドで 300 万ドル、2015 年末には B ラウンドで 1 億元(約 1500 万ドル)の調達に成功し、海外の有名 IP の購入やオリジナル作品の制作に投資している。

アプリは漫画を縦に読み進めるデザインで、毎日新作が公開される。作者が日常の様子を投稿する SNS もあり、ファンとの交流も盛んだ。アプリと WEB 版ともに完全無料で、広告も表示されない。運営側は主に作品の書籍化などで収益を得ているようだ。漫画家を目指す若者からの投稿を歓迎しており、同社の広告によると独占契約ならば 1 話につき 500~1,200 元の原稿料が支払われるという。



大半が中国国内の漫画家の作品で、全てフルカラーだ。WEB版もあり、無料で読むことができる。

## ● 騰訊動漫 <http://ac.qq.com>

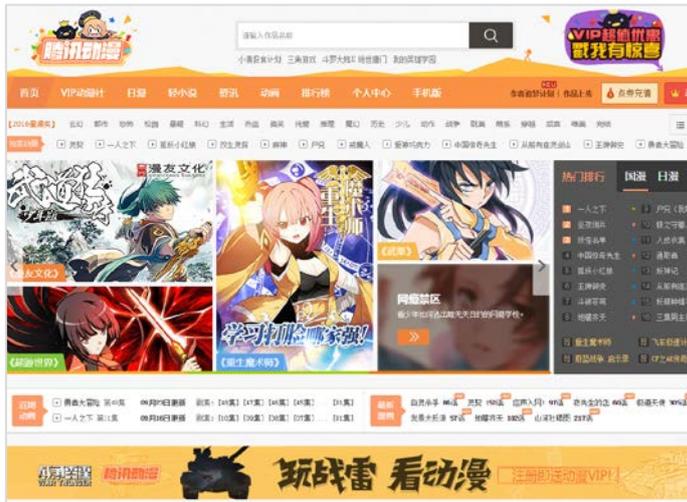


騰訊(Tencent)グループのアニメ・漫画プラットフォームで、2012年3月にサービス開始。中国、日本、韓国、香港、台湾などの漫画を2万タイトル以上扱っており、独占契約を結ぶ漫画家を500人以上抱えている。日本の漫画家の作品だけで500タイトル以上あり、うち約半分が有料タイトルだ。2013年には集英社と著作権契約を結び「NARUTO」、「ONE PIECE」、「ドラゴンボール」など11作品を独占公開。2015年7月には角川とライトノベルの著作権契約を結び、2016年には講談社と「FAIRY TAIL」、「金田一少年の事件簿」、「宇宙兄弟」など12作品の著作権契約を結んでいる。

有料タイトルは“騰訊動漫点券”という専用仮想通貨を使って購入する。年会費96元の“漫画VIP”会員(1カ月・3カ月・6カ月単位でも申込可)になると2割引で購入できるほか、一部の有料タイトルが読み放題になったり、イベントに参加できたりする。騰訊グループで8億人のユーザーを抱えるインスタントメッセージサービス「QQ」の漫画コンテンツ「QQ 動漫」と提携しており、さらなるユーザーの増加を狙う。

-5-

本レポートは、業界・企業に関する情報の提供を目的としたものであり、お客様の経営判断や購買、契約行為にあたってはお客様のご判断のもとに行っていただくようお願いいたします。本レポートは、クララオンラインが直接ご提供するという方法でのみ配布しておりますので、お問い合わせにつきましてはクララオンラインまでご連絡ください。本レポートのいかなる部分も、一切の権利は株式会社クララオンラインに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行うことを禁止いたします。なお本レポートに掲載されている第三者の企業名や商標、ロゴマークは個々の権利所有者に帰属します。また本レポートを日本国外で配布することは禁止いたします。



“日漫(日本の漫画)”の特設ページがあり、人気ランキングの上位には日本の作品が多く並んでいる。動画配信市場と同様に、大手が積極的に正規版權を獲得し、海賊版サイトを撲滅していく動きがみられる。



### ● 動漫之家 <http://donghua.dmzj.com>



北京凌飛天下軟件有限公司が運営する漫画とアニメの総合サービスプラットフォームで、中国で最も早い2005年にスタートしている。現在は、漫画、アニメのほか、ライトノベル、総合ニュース、ファンコミュニティのチャンネルを運営しており、全て無料で利用できる。

国内の漫画家の作品は1万7,000作品以上が無料で閲覧できるほか、日本の漫画は少し古いものを中心に約1万4,000作品を揃えている。アニメは9,700作品ほどあり、日本のアニメが約半分の4,200作品を占める。総合ニュースチャンネルでは、日本を含む海外のアニメや映画、舞台の情報、声優や漫画家に関するニュース、グッズの発売日やイベント日程などがタイムリーに伝えられている。またコミュニティには作品や趣味ごとに100あまりのグループがあり、なかには“日本語フォーラム”や“日系音楽”も。コミュニティの会員は約147万人で、2013年4月には同時接続数が5万人を超えた記録もある。ぼう大にある作品の全てが無料で閲覧できることに加え、ニュースが頻繁に更新されていること、コミュニティが活発なことも1日のアプリ起動回数や使用時間の長さにつながっているものと思われる。



“二次元ファン”には必須のサイトというコメントも。漫画家志望者からの投稿も受け付けており、漫画家への登門となっているようだ。



## ● 漫画島 <http://www.manhuadao.cn>



2013 年末にサービスを開始した無料漫画・アニメアプリで、運営元の上海元聚网络科技有限公司は創業者でもある劉慧敏女史が CEO(最高経営責任者)を務める。登録会員数は 3,000 万人以上、月間アクティブユーザー数は 500 万人以上。取り扱い作品数は 6 万を超えるといい、ライセンスの状況については明らかでないが日本の漫画も取り揃えている。

劉 CEO はインタビューで海外の人気作品の著作権購入にも動いていると話しているが、現在は中国の漫画家による作品が中心で、小説の漫画化作品も人気コンテンツとなっている。

新人漫画家の育成にも積極的で、作品の条件(10 ページ以上、週 1 回更新等)を満たせば、上海の新卒初任給並みの月給 5,000 元を約束するとしている。人気作品の書籍化や映像化などで収益をあげているようだ。



● 暴走漫画 <http://baozoumanhua.com>

アニメ制作やキャラクターデザインなどを手掛ける西安摩摩信息技术有限公司が2012年8月から運営しているアプリ。いわゆるギャグ漫画に特化しており、日常の些細な出来事や笑い話を大げさな表情でコミカルに描き、1話あたり数コマで完結するものが多い。

中国の漫画家による連載が常に50本以上あり、1日のアクセス数は100万人を超える。読者からの投稿作品も多い時で1日1万件以上あるという。2013年からは「暴走大事件」シリーズとして実写版が毎年制作され、アプリ内での配信が人気だ。現在は主に広告やゲーム、グッズ販売によって収益を得ているという。



#### 4. アニメの一部は当局が配信禁止に

文化部は2015年からインターネット上にある有害コンテンツ(未成年の犯罪誘発・暴力・わいせつ・テロ・公衆道徳に悪影響を与える可能性があるもの)の取締りを強化している。同年6月には中国での配信を禁じる38作品をブラックリストで公開しており、これには日本の「進撃の巨人」、「寄生獣」、「暗殺教室」、「インフェルノコップ」、「東京ESP」、「桜通信」、「DEATH NOTE」、「黒執事3」などが含まれる。一部のアニメはかねてより中国でも配信され人気を博していたが、似た作品の配信を自主的に取り下げる動きも出ている。今後は漫画にも規制が広がる可能性があり、当局の動向に注意が必要だ。

- 本レポートに含まれる情報は一般的なご案内であり、包括的な内容であることを目的としておりません。また法律・条令の適用と影響は、具体的な状況によって大きく変化いたします。具体的な事業展開にあたってはクララオンライン コンサルティングサービスチームより御社の状況に特化したアドバイスをお求めになることをおすすめいたします。また本書の内容は2016年9月13日時点で編集されたものであり、その時点の法律及び情報、為替レートに基づいています。

本書はクララオンライン コンサルティングサービスチームにより作成されたものです。クララオンラインの中国、台湾、韓国、シンガポールなどアジア各国のインターネットコンサルティングサービスに関するお問い合わせは以下の連絡先までお気軽にご連絡ください。

asia@clara.ad.jp または +81(3)6704-0776